



# 学校だより 冬休み前号

令和6年12月25日

杉並区立済美養護学校

校長 伴 比佐志

<http://www.suginami-school.ed.jp/seibiyougo/>

## 「令和6年を振り返る」 校長 伴 比佐志

令和6年の学校だよりの最終号です。2学期は、11月まで暖かい日が続き、秋を感じたと思ったら、あっという間に冬に突入し、健康管理の難しい学期だったと感じます。

小学部学習発表会・中学部作業販売への御来校と、ふれあいアートギャラリーの参観をいただきまして、ありがとうございました。一昨年・昨年とこの時期の児童・生徒の様子を見てきましたが、行事に向けて落ち着いて臨んでいると感じます。見通しをもち、学校生活の中での自分の役割や振る舞いが、学習の積み上げの中で育ってきているからと分析します。お子様の2学期の成果は、この号の発行とともに、あゆみをお配りしてお伝えいたします。この2学期のお子様の頑張りを、ぜひ御家庭で十分にほめ、3学期のモチベーションに繋げてあげてください。

さて、令和6年は、元日の能登半島地震に始まり、夏の酷暑や豪雨災害、自然災害への対策について、再考させられる機会が多くありました。これまでの定説や常識を払拭し、様々な方向からの視点や考え方を参考にして、新しい常識をつくり上げる必要性を、あらためて噛みしめた一年であったと、私は振り返っています。

新しい杉並区特別支援教育推進計画の策定が進んでいます。大きな柱として、国・都・区が推進している、インクルーシブ社会の構築が掲げられます。区立学校唯一の特別支援学校として、全ての区立学校の特別支援教育の充実に向け、具体的で明確なセンター的機能の発揮方法を模索することとなります。形骸化した副籍交流の在り方や、校種を超えた区立学校間のインクルーシブな教育課程の実現等、本校を中心となり、区教育委員会との連携によって推進する所存です。

結びになりますが、保護者の皆様や関係諸機関の皆様に御理解と御協力をいただき、令和6年の無事最終登校日を迎えるました。厚く御礼を申し上げます。皆様、よいお年をお迎えください。

## 「給食試食会」

給食室

11月14日（木）に給食試食会を開催しました。はじめにスライドをご覧いただきながら、本校の給食の調理作業や配膳の様子・形態食・食物アレルギー対応・衛生面の安全対策などについて御紹介しました。その後、子どもたちと同じ給食をご試食いただきました。当日の献立は「高野豆腐のそぼろあんかけごはん・野菜の磯和え・豚汁・牛乳」でした。形態食の試食も料理別に用意し、形態食をご試食された保護者の方々からは「とってもおいしいです！」と、うれしいお声をいただきました。

普通食はもちろん、初期食・中期食・後期食、それぞれの形態で同じようにおいしく食べられるように…子どもたちのことを思いながら工夫して調理している本校の給食を、保護者の皆さまにお伝えすることができてよかったです。アンケートからは、「調理員さんが、子どもたちの事を大切に思って給食を作ってくださっている事が伝わり、凄く感動しました。」「子供の連絡帳に「完食」とある理由がわかりました。」など、うれしい御感想と給食室への温かいお言葉をたくさんいただきました。ありがとうございます。詳しくは12月号の給食だよりをご覧ください。

“学校に來るのが楽しみ！”になるような安全でおいしい給食を、給食室一同これからも心を込めて作ってまいります。どうぞよろしくお願いいいたします。